

## 施策 3 3 2

## 観光の産業化と海外誘客の促進

【主担当部局：雇用経済部観光局】

### 県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さん、市町、観光関連事業者、NPO法人等と連携を図り、マーケティングを実施し、マネジメントおよびPDCAサイクルの方法を取り入れた取組を推進することにより、国内外の来訪者から何度でも訪問したい観光地として三重県が選ばれるとともに、観光関連産業が三重県経済をけん引する産業のひとつとして確立し、地域が持続的に発展しています。

### 平成 31 年度末での到達目標

第 62 回神宮式年遷宮後の観光入込客の減、また、人口減少・少子高齢化による国内観光市場が縮小傾向にある状況においても、伊勢志摩サミット開催の経験や三重県の特性を生かした国内外誘客の取組、さらなる観光の産業化を進めることで、「みえの観光」のグレードアップが図られ、観光関連産業が活性化しています。

| 県民指標             |                                                                                                                                                                                         |            |            |            |            |                |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|------------|------------|------------|----------------|
| 目標項目             | 27 年度                                                                                                                                                                                   | 28 年度      |            | 29 年度      | 30 年度      | 31 年度          |
|                  | 現状値                                                                                                                                                                                     | 目標値<br>実績値 | 目標達成<br>状況 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値     |
| 観光消費額            |                                                                                                                                                                                         | 4,850 億円   |            | 4,900 億円   |            | 5,000 億円<br>以上 |
|                  | 4,830 億円                                                                                                                                                                                |            |            |            |            |                |
| 目標項目<br>の説明      | 観光客が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、飲食費、入場料、土産代等）                                                                                                                                               |            |            |            |            |                |
| 29 年度目標値<br>の考え方 | 伊勢志摩サミットの開催と知名度の向上を生かして国際観光地としてのレベルアップを図り、三重県内での滞在時間の長期化、三重ファンの増加による周遊性の拡大、宿泊比率の向上、外国人旅行者の増等につなげることにより、平成 26 年の観光消費額 4,657 億円を平成 31 年には 5,000 億円以上とすることをめざし、平成 29 年度は 4,900 億円を目標値とします。 |            |            |            |            |                |

| 活動指標                              |              |           |            |            |            |            |            |
|-----------------------------------|--------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 基本事業                              | 目標項目         | 27 年度     | 28 年度      |            | 29 年度      | 30 年度      | 31 年度      |
|                                   |              | 現状値       | 目標値<br>実績値 | 目標達成<br>状況 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 |
| 33201 持続可能な観光地づくり<br>（雇用経済部観光局）   | 県内の延べ宿泊者数    |           | 980 万人     |            | 990 万人     |            | 1,000 万人   |
|                                   |              | 946 万人    |            |            |            |            |            |
| 33202 インバウンド倍増戦略の展開<br>（雇用経済部観光局） | 県内の外国人延べ宿泊者数 |           | 390,000 人  |            | 410,000 人  |            | 450,000 人  |
|                                   |              | 391,740 人 |            |            |            |            |            |

| 基本事業                                   | 目標項目         | 27年度  | 28年度       |            | 29年度       | 30年度       | 31年度       |
|----------------------------------------|--------------|-------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                                        |              | 現状値   | 目標値<br>実績値 | 目標達成<br>状況 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 | 目標値<br>実績値 |
| 33203 伊勢志摩サミットの好機を生かしたMICE誘致（雇用経済部観光局） | 国際会議開催件数（累計） |       | 4件         |            | 8件         |            | 20件        |
|                                        |              | —     |            |            |            |            |            |
| 33204 人にやさしい観光の基盤づくり（雇用経済部観光局）         | 観光客満足度       |       | 22.5%      |            | 23.5%      |            | 25.5%      |
|                                        |              | 21.5% |            |            |            |            |            |

## 現状と課題

- ①国の宿泊旅行統計調査によると、三重県の平成28年1月から8月の延べ宿泊者数は、約667万2千人、対前年同期比伸び率は9.8%で全国2位となっています。外国人延べ宿泊者数については、約26万8千人、対前年同期比伸び率は22.8%となっています。引き続き、伊勢志摩サミット開催の経験と知名度の向上を生かした国内外からの誘客に官民一体となって取り組む必要があります。
- ②平成28年3月に設立した官民一体の組織「みえ観光の産業化推進委員会」において、三重県観光キャンペーンの取組で得た成果を生かし、「観光の産業化」の推進、「日本版DMO」創設に向けた取組、受入体制のさらなる充実・強化、マーケティングに基づくプロモーション、の4つの視点で事業を展開することにより、三重県観光の質を高め、観光の産業化を推進し、観光消費額の増加につながる取組を進めています。
- ③本県への旅行目的で大きなウエイトを占め、伊勢志摩サミットで世界の首脳やメディア等を魅了した三重の「食」をテーマに、6月30日から「みえ食旅パスポート」を実施しています。開始後4か月（10月末時点）の発給数は、前回の「みえ旅パスポート」の約2倍となる約6万6千部に達しています。今後、パスポート利用者の周遊性・滞在性のさらなる促進と地域の消費喚起・拡大につながるため、「コアな三重ファン」のさらなる増加に向けた取組や、20代・30代の若年層をターゲットにした取組に注力するとともに、企業や地域の事業者とのコラボ版パスポートの実施により、地域の“稼ぐ力”を引き出す展開を図る必要があります。
- ④「日本版DMO」創設に向けた取組では、7月に株式会社Verde大台ツーリズム、8月に伊勢まちづくり株式会社、一般社団法人鳥羽市観光協会、一般社団法人志摩スポーツコミッションが日本版DMO候補法人として登録されました。また、菟野町についても、地域と連携して早期の候補法人登録に向けて引き続き取り組んでいます。今後、これらの法人と一体となって、各法人の自主財源となる収益事業のモデル構築に向け、客観的データを活用しながら地域資源を生かした展開を図るとともに、県内各地の観光地づくりを推進するために必要な「全県的な役割・機能（全県DMO）」について、みえ観光の産業化推進委員会内に設置した検討部会で検討を進める必要があります。

⑤海外誘客について、平成 28 年度上半期は、欧米からの誘客を図るため、フランスの現地旅行会社及びメディアを訪問し、忍者、海女、真珠等、三重県の魅力をPRするとともに、英国、ドイツ、カナダ、フランス、イタリアからのメディアや旅行会社のファムトリップを受け入れ、現地での記事掲載や旅行商品の造成を図りました。アジアについても、タイ・台湾の旅行会社へのセールス、台湾・マレーシアへの旅行博出展、台湾・香港・タイ・マレーシア等のメディアや旅行会社の県内ファムトリップの受入等により、現地での報道や旅行商品の造成に向けて取り組みました。また、ゴルフツーリズムについては、タイのEGAゴルフツアー訪問団を受け入れるなど、ゴルフをテーマに海外富裕層の県内への誘致を進めています。

5月の伊勢志摩サミットの開催を契機に、伊勢志摩地域を中心に海外メディアによる問い合わせが増えているほか、宿泊施設において欧米、富裕層の宿泊の増加が見られるなど、伊勢志摩サミットの開催による認知度向上の成果が現れているところです。今後、このタイミングを逃すことなく、欧米や富裕層等を対象に、サミットの開催実績を生かした積極的な海外誘客プロモーションを展開し、その魅力を発信することで、県内への外国人観光客の誘致を進めていく必要があります。

⑥MICE誘致については、6月に「三重県国際会議等MICE誘致・開催取組方針」を策定するとともに、国際会議主催者に財政支援をすることで県内での国際会議開催を促進する「三重県海外MICE誘致促進補助金」の申請受付を7月1日から開始しました。県内の会議・宿泊施設や特色ある会議・レセプション開催場所（ユニーク・ベニュー）の状況を整理し、こうした施設関係者や国際会議の主催者となり得る大学・産業界関係者との連携体制を構築したうえで、三重県で開催するに相応しいテーマ・開催規模の国際会議にターゲットを絞ったセールス・プロモーションを行う必要があります。

⑦バリアフリー観光の推進については、伊勢志摩バリアフリースターセンターと連携し、パーソナルバリアフリー基準による調査やアドバイス、観光案内窓口などでの案内機能強化のためのコンシェルジュ研修を行っています。今後も、「日本一のバリアフリー観光県推進宣言」に基づき、三重県版バリアフリー観光を普及し、県内におけるバリアフリー観光の受入環境の充実等、障がい者や高齢者、外国人でも安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを進める必要があります。

## 平成 29 年度の取組方向

- ①みえ観光の産業化推進委員会において、平成 28 年度に「観光の産業化」の推進、「日本版DMO」創設に向けた取組、受入体制のさらなる充実・強化、マーケティングに基づくプロモーション、の4つの視点に基づき取り組んだ事業の成果と課題を検証するとともに、委員会の構成団体である交通事業者や農林水産関係団体等のもつノウハウを積極的に活用するなど、観光消費額の増加につなげるためのさらなる展開を図ります。
- ②パスポートの達成者データをはじめ、国の観光統計や近年の旅行者トレンドなど、様々なデータを活用することにより、戦略的な利用促進プロモーションを展開するとともに、引き続き様々な企業等とのコラボ版パスポートを実施するなど、地域の“稼ぐ力”を引き出すさらなる展開を図り、本県への誘客促進と、地域の消費喚起・拡大に確実につなげます。
- ③県内各地に創設された地域DMOや観光地づくりに取り組む市町等に対し、地域自らが“稼ぐ力”を身につけるための自立した取組が進められるように、県として「全県的な役割・機能（全県DMO）」のあり方を早期に取りまとめ、地域と一体となった持続可能な観光地づくりを推進します。

- ④伊勢志摩サミットの開催により、海外メディアや旅行会社等の関心が高まっているこの機会を活用した今年度の海外誘客の取組を更に発展させるべく、従来のアジアに加え、G7を中心とした欧米諸国及びアジアも含めた富裕層等に向けて積極的に海外誘客プロモーション等を展開します。また、増加傾向にある個人の外国人旅行者に対する情報発信の充実を図るとともに、近隣自治体との連携による広域の取組も推進していきます。
- ⑤限られた人員と予算で効率的かつ効果的に、より多くの国際会議等MICEの誘致・開催を実現するため、セールス体制及びツールの確保に取り組んでいきます。
- ⑥パーソナルバリアフリー基準による、三重県版バリアフリー観光が浸透するよう、同基準による調査やアドバイスなどを実施し、県内におけるバリアフリー観光の受入環境の充実を図ることで、障がい者や高齢者、外国人でも安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを推進していきます。

## 主な事業

- ①みえ観光の産業化推進委員会負担金【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】  
予算額：(28) 111,018千円 → (29) 97,200千円  
事業概要：本県の強みである「食」をテーマとした「みえ食旅パスポート」や、そのデータを活用した取組により、観光関連産業をはじめサービス産業の支援など、地域の”稼ぐ力”を引き出す仕組みづくりを展開します。また、「日本版DMO」創設に向けた取組を展開するとともに、「受入体制のさらなる充実・強化」に官民一体で取り組み、持続可能な観光地づくりをめざします。
- ②国内誘客推進事業【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】  
予算額：(28) 36,637千円 → (29) 21,189千円  
事業概要：持続的な三重県観光の基盤強化のため、公益社団法人三重県観光連盟、公益社団法人伊勢志摩観光コンベンション機構等と連携し、観光情報の発信と誘客促進の取組を一体的に展開します。
- ③（一部新）海外誘客推進プロジェクト事業【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】  
予算額：(28) ー 千円 → (29) 61,082千円  
事業概要：伊勢志摩サミットの開催により本県の知名度が飛躍的に向上した機会を生かし、国際情勢に関心の高い富裕層やゴルフ客の誘致とともに、サミット参加国を中心とした欧米からの旅行者誘致を近隣府県と連携して行います。また個人の外国人旅行者（FIT）の増加を踏まえ、SNS等を活用した情報発信や台湾からの教育旅行の誘致にも取り組みます。
- ④海外プロモーション推進事業【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】  
予算額：(28) 15,154千円 → (29) 11,487千円  
事業概要：本県の認知度を高め、外国人旅行者の更なる誘致を図るため、重点国・地域での旅行博覧会出展、海外旅行会社へのセールス・商談会の開催、また県内においては旅行雑誌・TV等海外メディアの招請に取り組めます。

⑤（一部新）海外MICE誘致促進事業

【基本事業名：33203 伊勢志摩サミットの好機を生かしたMICE誘致】

予算額：(28) ー 千円 → (29) 40,650千円

事業概要：伊勢志摩サミットにより世界最高峰のMICE開催地として本県の知名度が飛躍的に向上した好機を生かし、本県インバウンドの新たな市場として確立させるため、海外のMICE見本市への出展などセールスを促進させるとともに海外MICE誘致促進補助金などのツールを生かし、国際会議等MICE誘致に取り組みます。

⑥観光事業推進費【基本事業名：33204 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(28) 25,546千円 → (29) 24,455千円

事業概要：観光事業の推進を図るため、関係団体との連携や、観光動向の分析に必要な観光客実態調査等に取り組みます。また、県民や多くの関係者ととも、「みえの観光振興に関する条例」や「三重県観光振興基本計画」に基づき観光施策を進めます。